

早期稲作情報 第3号

令和7年7月10日
J A む な か た
北筑前普及指導センター

本年は、平年より22日早く梅雨明けしました。水稻の生育は、気温が高く、日照時間も多く推移しており、葉色はやや濃く、概ね順調です。

現在、早期水稻は穂ばらみ期を迎えています。

予想される出穂期は平年並みの7月15日前後と思われます。

1. 水管理

水稻の幼穂形成期～出穂・開花期にかけては、水を最も必要とする時期です。特に、出穂前後1週間は浅水管理とし、その後は間断かん水を行いましょ。

また、今年は梅雨明けが早く水稻の高温障害が懸念されます。登熟期間中は間断かん水を基本とし、配水が自由になるほ場では、かけ流し、昼間深水・夜間に水を入れ替えることで、水温・地温の上昇を抑制しましょ。

早期落水は、登熟不良・品質低下を招くため、収穫1週間前までは間断かん水を続けましょ。

2. 病虫害防除

【斑点米カメムシ類】

今年も、カメムシ類（イネカメムシ、ミナミアオカメムシ等）の発生に注意しましょ。

※イネカメムシは7月以降稲穂に飛来します。防除は出穂期と出穂期の14日後の2回防除が基本です。防除薬剤としてはスタークル剤、エクシードフロアブルの効果が高いです。

出穂直前の畦草刈りは、畦からほ場にカメムシ類が移動する恐れがあるので畦草刈りは早めに行いましょ。



クモヘリカメムシ



ミナミアオカメムシ



イネカメムシ

【紋枯病】

近年紋枯病が多発しています。前年多発したほ場では菌が残っている可能性が高いので注意が必要です。

《出穂期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
ダブルカットバリ ダトレボン粉剤3 DL	3～4kg/10a	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病 カメムシ類、ウンカ類
ダブルカットバリ ダフロアブル	1000 倍	穂揃い期まで	いもち病、紋枯病
エクシード フロアブル	2000 倍	収穫 7 日前まで	ウンカ類、カメムシ類
ゴウケツモンスター 一粒剤	3kg/10a	出穂5日前まで 収穫 45 日前まで	いもち病、紋枯病 稲こうじ病、ウンカ類 カメムシ類他

《穂揃い期防除》

薬剤名	散布量	防除時期	対象病害虫
スタークル粉剤 DL	3kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫 7 日前まで)	ウンカ類 カメムシ類
スタークル液剤 10	1000 倍		
スタークル豆つぶ	250g/10a		
キラップ粉剤 DL	3～4kg/10a	穂揃い期～乳熟期 (収穫 1 4 日前まで)	
キラップフロアブル	2000 倍		
キラップ粒剤	3kg/10a		

※豆粒剤、粒剤は稲体に吸収されるのに時間がかかるため、防除時期の7日前に散布しましょう。

※液剤は散布後一旦乾けば降雨にあたってもかけ直しの必要はありませんが、粉剤は散布後殺菌剤で 6 時間、殺虫剤で 3 時間以内に降雨があった場合は、かけ直した方が効果は安定します。

※ミツバチへの危害防止のため、稲の開花期の薬剤防除は避けてください。

熱中症予防

- ・農作業中は、定期的に水分・塩分を補給し、休憩はこまめにとりましょう
- ・気温が高い時間帯に農作業しない、単独で作業しないなど十分配慮してください